

JIS

情報処理用語（データの表現）

JIS X 0005 : 2002

(IP SJ・ITSCJ/JSA)

(2008 確認)

平成 14 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	棟 上 昭 男	東京工科大学メディア学部
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	石 崎 俊	慶應義塾大学
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 下 直 行	日本銀行金融研究所
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	岡 本 秀 樹	財団法人日本規格協会
	岡 山 淳	総務省行政管理局
	笈 捷 彦	早稲田大学
	喜 安 拓	総務省情報通信政策局
	小 町 祐 史	松下電送システム株式会社ドキュメント技術研究所
	近 藤 昭 弘	株式会社日立製作所情報・通信グループ統括本部
	斎 藤 輝	日本アイ・ピー・エム株式会社
	成 田 博 和	富士通株式会社ソフトウェア事業本部開発企画統括部
	平 松 幸 男	日本電信電話株式会社第三部門
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	平 野 芳 行	日本電気株式会社知的財産部標準化推進部
	関 口 裕	社団法人電子情報技術産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 川 秀 眞	財団法人日本情報処理開発協会
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.4.1 改正：平成 14.8.20

官 報 公 示：平成 14.8.20

原 案 作 成 者：社団法人情報処理学会（〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 機械振興会館 TEL 03-3431-2808）
財団法人日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：情報技術専門委員会（委員長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局標準課 情報電気標準化推進室
[〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511（代表）]にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人情報処理学会 (IP SJ ・ IT SC J) / 財団法人日本規格協会 (J SA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS X 0005 : 1990** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 2382-5 : 2000, Information technology—Vocabulary—Part 5 : Representation of data** を基礎として用いた。

JIS X 0005 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 表記法	1
5. 情報処理用語（データの表現）	2
附属書（参考） JIS に対応する国際規格との対比表	9
索 引	10

情報処理用語（データの表現）

Glossary of terms used in information processing (Representation of data)

序文 この規格は、1999年に第1版として発行された ISO/IEC 2382-5, Information technology—Vocabulary—Part 5: Representation of data を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、附属書（参考）に示す。

1. 適用範囲 この規格は、情報処理におけるデータの表現に関する用語、定義及び対応英語について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO/IEC 2382-5 : 1999 Information technology—Vocabulary—Part 5: Representation of data (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS X 0002 情報処理用語（算術演算及び論理演算）

備考 ISO/IEC 2382-2 : 1976, Data processing—Vocabulary—Section 02: Arithmetic and logic operations からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

3. 定義 用語は、次のとおり分類する。

- a) データの表現形式 (05.01 参照)
- b) 定数 (05.02 参照)
- c) 記数法に関する一般用語 (05.03 参照)
- d) 位取り表記法 (05.04 参照)
- e) 浮動小数点表示法 (05.05 参照)
- f) 離散的データの表現に関する表記法 (05.06 参照)
- g) 10進数字の表現に対する表記法 (05.07 参照)
- h) 補数 (05.08 参照)

4. 表記法 この規格では、各用語を、番号、用語、定義及び対応英語の四つの欄に分けて規定する。それぞれの欄における表記法及び解釈を、次に示す。